

岩手県金融経済概況（平成 26 年 5 月）

1. 概 況

県内経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているが、基調的には回復を続けている。

最終需要の動向をみると、個人消費には、このところ駆け込み需要の反動がみられているが、基調的には底堅く推移している。建設投資（公共投資、設備投資、住宅投資）は、増加している。

生産は、消費税率引き上げの影響による反動を受けつつも、持直し傾向をたどっている。

こうした中、雇用・所得環境は、改善している。

2. 最終需要

(1) 個人消費

百貨店売上高（5 月）、スーパー売上高（4 月）、新車登録台数（5 月）は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動もあって、前年を下回った。

—— もっとも、5 月の百貨店売上高、新車登録台数の前年比マイナス幅は、4 月対比で縮小している。

(2) 建設投資（公共投資、設備投資、住宅投資）

公共投資（公共工事請負額；5 月）は、前月に引き続き高水準の前年を上回った。

—— 5 月の大型工事では、防波堤建設工事、宅地整備工事などがみられる。

民間設備投資（短観ベース）は、2013 年度については、被災設備等の再建投資の一服等から前年度を下回ったが、2014 年度は、製造業において幅広い業種、企業で増額計画とする中、新製品対応等に伴う大型投資計画が一部にみられることもあって、前年対比で大幅増の投資計画となっている。

住宅投資(新設住宅着工戸数;4月)は、持家が昨年1月以来15ヵ月振りに前年を下回った(前年比△14.6%)ものの、貸家、分譲が前年比大幅プラスとなった(貸家 同+85.8%、分譲 同 3.2 倍)ことから、全体では、引き続き前年対比で増加した。

県内官民建設工事全体の出来高(建設総合統計;4月)は、大幅増加を続けている。

3. 生産動向

生産は、消費税率引き上げの影響による反動を受けつつも、持直し傾向をたどっている。

—— 4月の県内鉱工業生産指数(季節調整済計数)は、電子部品・デバイス、窯業・土石などで前月を上回ったものの、生産用機械、輸送機械等多くの業種で前月を下回ったことから、全体では、前月比マイナスとなった。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善している。

有効求人倍率(季節調整値;4月)は、1.11倍となった(2013年5月以降12ヵ月連続で1.00倍以上)。

雇用保険被保険者数(民間企業中心の全数調査;4月)は、前年比プラスを継続している(2012年3月以降26ヵ月連続)。

名目賃金指数(4月)は、6ヵ月連続で前年比プラスとなった。

雇用者所得(県内合計値;4月)も6ヵ月連続で前年を上回っている。

5. 企業倒産

企業倒産(5月)は、2件、0.5億円となり、件数、金額共に前年を上回った。

6. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金、貸出は、前年を上回って推移している。貸出約定平均金利は、低下地合いを辿っている。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所

TEL：019-624-3622(代)

<http://www3.boj.or.jp/morioka/>